

ギリシャ概況(2019 年 12 月号)

1. 内政

- ・11月29日～12月1日 第13回ND党大会が開催された。
- ・7日 ヴラシスND議員が、ディアマトリス外務政務官(国外在留ギリシャ人担当)の後任に就任した。
- ・9日 政府は、前政権が導入した「13番目の年金」を廃止すると発表した。
- ・11日 在外選挙に関する法案が、国会本会議にて300議席中288票の賛成票を得て採択された。これまで在外ギリシャ人には投票権が付与されておらず、EUから改善を求められていた。
- ・25 日 ミツオタキス首相はタソス島を訪問し、国家安全保障の観点から重要な位置づけである軍基地を視察した。

2. 外政

- ・1 日 デンディアス外相がエジプトを訪問し、シュクリ外相と会談した。両者は、トルコ・リビア間で署名された覚書に合法性がないことに合意した。
- ・4 日 ミツオタキス首相がロンドンで開催された NATO サミットに参加した。また、ゴールドマン・サックスに於いて大手ファンドや企業幹部とギリシャへの投資に関し協議した。
- ・9 日 デンディアス外相が EU 外相会合に出席した。
- ・11 日 アテネを訪問したブチッチ・セルビア大統領がミツオタキス首相、バコヤニス・アテネ市長、イエロニモス大司教他とそれぞれ会談した。
- ・12 日 ミツオタキス首相が EU サミットに出席した。
- ・17 日～19 日 デンディアス外相がサウジアラビア、アラブ首長国連邦、ヨルダンを訪問し、各国において外相会談等を行った。
- ・22 日 デンディアス外相がリビアを訪問し、ハフタル「リビア国軍」総司令官と会談を行った。さらに同日、エジプトを訪問し、シャクリ・エジプト外相と会談した。続いてキプロスを訪問し、フリストドゥリディス外相と会談した。

3. 移民・難民問題

- ・2019 年 1 月～12 月に陸路でギリシャに到着した移民・難民の数は 14,900 名、エーゲ海島嶼部に到着した者の数は 59,700 名となった(前年比で 50%以上増加)。
- ・12 月 31 日現在、ギリシャに滞在する移民・難民は 112,300 名。うち、41,100 名が島嶼部に、71,200 名が本土に滞在している。(UNHCR 発表)

4. 経済

(1) 経済動向

- ・4 日 ロンドンで開催されていた国際海事機関(IMO)総会で、ギリシャが次期理事会メンバーとして再選された。
- ・4 日 短期証券(6ヶ月)の利回りがマイナスを記録し、-0.02%となった。
- ・8日 ギリシャ産業連盟(SEV)が国外への頭脳流出防止に向けて、頭脳流出現象の評価及びモニタリング、専門性の高い分野を対象を絞った政策、大学と企業の協力連携促進に向けた介入及びインセンティブ導入等、20の対策を発表した。
- ・10 日 10 年物国債利回りが 1.35%を記録した。
- ・13 日 第 41 回黒海経済協力機構フォーラムがアテネで開催され、アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、モルドバ、グルジア、ロシア、ブルガリア、ルーマニア、セルビア、トルコ、ウクライナからの外相他が出席した。デンディアス外相が議長を務めた。
- ・16 日 ギリシャ電力公社(PPC)は、少なくとも国内の 12 の褐炭発電所を 2023 年までに閉鎖すると発表した。なお、建設中のプトレマイダ第 5 号機は、2028 年まで稼働する予定。
- ・16 日 ハジダキス環境・エネルギー大臣は、2020 年にギリシャ配電公社(DEDDIE)の株式 49%を売却すると発表した。
- ・17 日 ミツオタキス首相がフランクフルトを訪問し、ラガルド欧州中央銀行総裁と会談を行った。プライマリー黒字目標の引き下げ等について協議した。
- ・20 日 ギリシャ統計局の発表によると、2019 年第 3 四半期の失業率は 16.4%となり、第 2 四半期の 16.9%から 5 ポイント低下した。
- ・23 日 日本の(株)格付投資情報センターが、ギリシャ経済の格付け見通しを B-から BB へ 2 段階引き上げた。

(2) 財政

ギリシャ財務省が 12 月 27 日付けで公表した 2019 年 1 月から 12 月の財政統計によると、1 月から 12 月の財政収支は 1 億 6800 万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは 50 億 1,700 万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は 550 億 9,700 万ユーロで政府目標を 7 千 200 万ユーロ上回り、歳出は 552 億 6,500 万ユーロと政府目標を 5 億 9,900 万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の 1 月 9 日付の発表によると、11 月の輸入総額は 43 億 2040 万ユーロ(前年同月比 5.3%減)、輸出総額は 27 億 1,240 万ユーロ(前年同月比 11.4%減)となった。

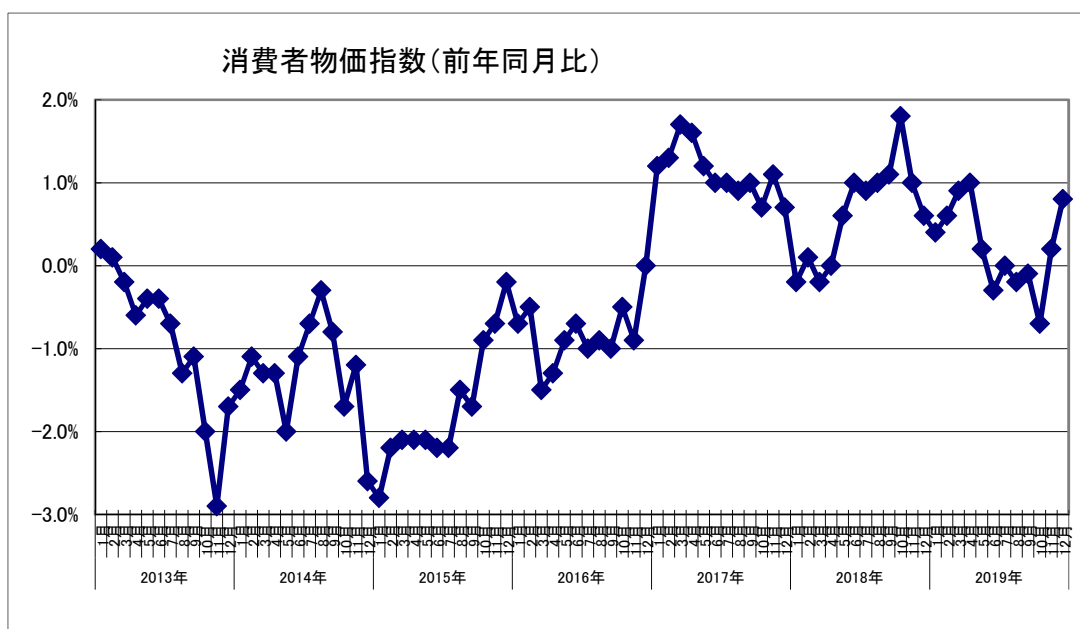
(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、10月の観光客は168万1,405人で前年同月比は5.7%増となった(国内主要空港の観光客到着数)。内訳は、アテネ国際空港が56万3,580人(同9.6%増)、テサロニキ空港が19万8,624人(同13.8%増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

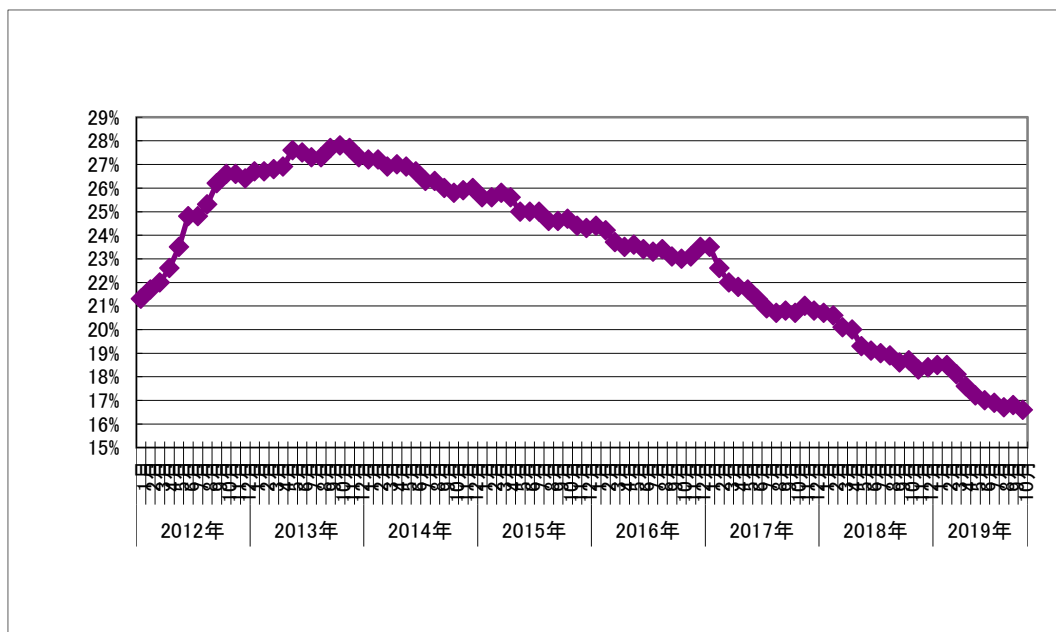
ギリシャ統計局の1月13日付の発表によると、12月の消費者物価指数は前年同月比0.8%増となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の 1 月 9 日付の発表によると、10 月の失業率は 16.6%となり、前月から 0.2%減少した。



(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECD のデータによると、2019 年第 3 四半期(7 月～9 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 0.6%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

(了)